

FreeBSD で生活環境を

...ports/package なんでもありの手抜き生活環境構築です

FreeBSD に関する一番いい (と思う) 情報ソース

- <http://www.freebsd.org>
- <http://www.jp.freebsd.org>

特に日本語サイトにあるハンドブックは便利。だいたい事は分かる ... はず

ベースシステム構築時の設定

インストーラーまわり

パーティションとラベル

FreeBSD ではディスクを partition と label の二つの単位で管理しています。

AT 互換機の場合ディスクの partition は 4 つにしかきることができないので、一つのパーティションを小さく label に分割してつかうことができるのだとおもっておいていいような気がします。かならずラベルを分割しなければいけないわけではありませんが、複数の label を分ける事でアップデートに伴う再インストールやバックアップが容易になります。

昔は X を使うなら swap をメモリの二倍になんていいましたが、最近はそんなにいらないのかも。ディスク全体が 20G くらいの時、/ と swap と /var を 512MB くらい。/home が 10G くらい、残り /usr くらいかな。

configuration

タイムゾーンの設定では Windows などとデュアルブートな PC を作る時は注意

でてくるダイアログをみて、ちゃんと「No」を選ぶ

```
TimeZone = JST
```

```
/etc/rc.conf
```

変更項目

```
sendmail_enable="YES" => sendmail_enable="NO"
```

追加項目

```
hostname="HOSTNAME"  
keymap="jp.106x"  
keyrate="fast"  
keybell="visual"  
moused_enable="YES"  
moused_flags="-z 4"
```

ports や package の参照場所

ports

<ftp://ftp.jp.freebsd.org/pub/FreeBSD/ports/ports/ports.tar.gz>

package

<ftp://ftp.jp.freebsd.org/pub/FreeBSD/i386/5.1-RELEASE/packages/All>
5.1-RELEASE ならパッケージ名 .tbz のファイルをダウンロードして

```
> pkg_add パッケージ名.tbz
```

他に必要なパッケージで足りないものがあればエラーとして出力されるので、それらのファイルをダウンロードして、再び、上記のコマンドを実行すればよい。

package の使い方に関して こんな つっこみがありました

ports/package で導入したアプリケーション

- jless
 - ・標準の /usr/bin/less を /usr/bin/less.old とし /usr/local/bin/jless を /usr/bin/less としてコピーまたはハードリンク)
- XFree-4.3.0 と関係するパッケージ -> X の設定
- ja-kterm-6.2.0
- linux_base-7.2
- ja-kinput2-canna と Canna -> kinput2 での日本語入力
- mozilla-1.4b,1 と関連するパッケージ
- apache-1.3.27
- fvwm2

- ja-truetypefonts と ja-kochi-ttf fonts -> X の設定
- sudo

アプリケーション毎の設定など

mew でメール

emacs の設定

Wanderlust

その他

背景がさびしいので画像をはりたい

```
% xv -root -quit -max hoge.jpg
```

ちなみに昔サークルの先輩にこんなスクリプトをもらいました

30 秒に一回、引数で与えた画像ファイルで壁紙が変わります
また \$HOME/tmp/kabe.pid に保存してある pid で終了させることができます

```
% kabegami hoge/* &  
% kabegami.kill
```

tgif の図をきれいな pdf にする

ソース

- replacecjkfonts , cjks2pdf
- FreeBSD 4.7R における pLaTeX2e のインストールと設定